

2/15 (木) 学年末テストへの取り組みは、いかがだったでしょうか。

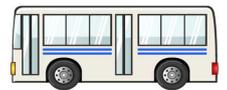


少し時間が経ってから、花が咲く(その3)

学年末テストに向けて、いかがだったでしょうか。2学期期末テスト、または、学力診断調査を終えてから、学年末テストを目指して学習してきたお子さんも多かったことでしょう。以前、“少し時間が経ってから、花が咲く”という言葉を紹介しましたが、きっと学年末テストも同じです。好結果を残すことができたお子さんは、テストに近づいてから頑張り始めた訳ではないはずです。これから応援しています。



時刻表のないバス停で、

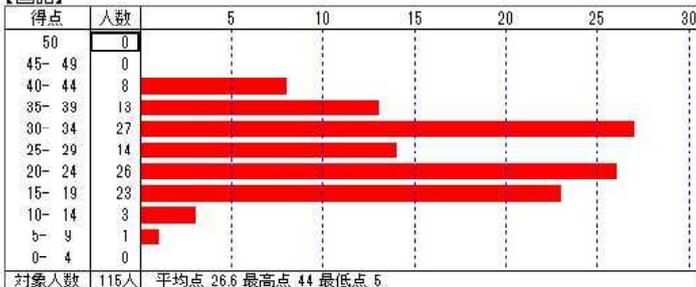


満足できる結果を残せなかったお子さんは、もう少し努力していれば、違った結果を残すことができたかもしれません。努力とは、時刻表のないバス停で、「成功」という名のバスを待っているかのように、粘り強さが必要です。もう少し続けてみましょう。

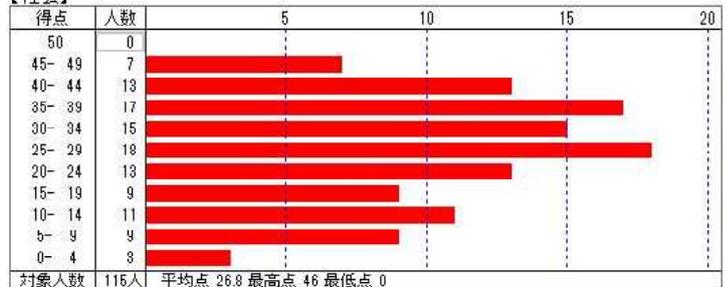
以下、度数分布表を掲載しました。来年度の1学期中間テストは、5月17日(木)の予定です。来年度、再確認してください。

裏面、教科担任からのコメント掲載。お子さんが自分を成長させるヒントになります。

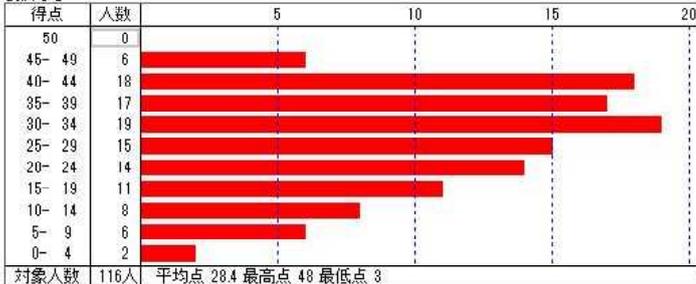
【国語】



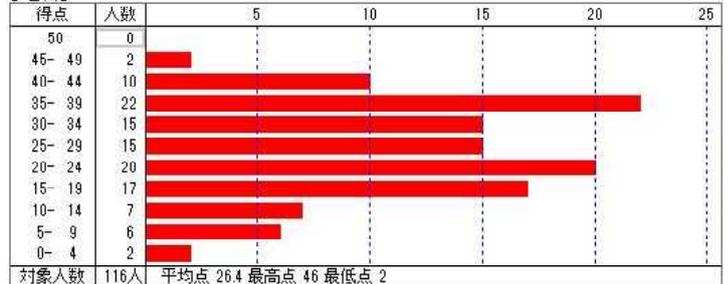
【社会】



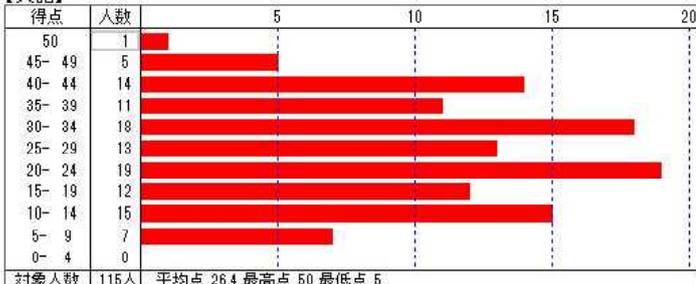
【数学】



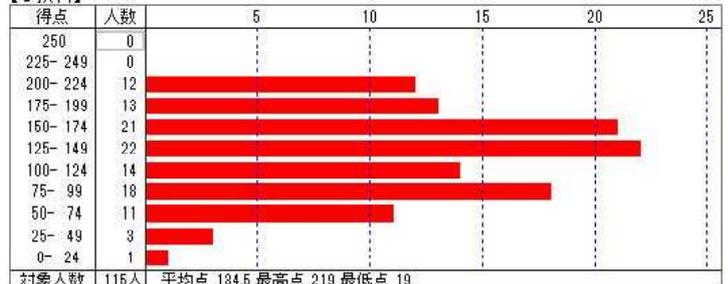
【理科】



【英語】



【5教科】



平成29年度 1年生学年末テストを終えて（教科担任より）

【国語】

《**読む**》問題の学年平均点は20点中、11.75点でした。文章を読んで答える力がついてきています。さらに、**答え方**に気をつけると、点数が伸びます。例えば、**問題六**問二「どのような**こと**を羨ましいと思っていたのか」と問われているので、答え方は「～な**こと**」で終わるべきです。

《**話す・聞く**》の問題になりますが、**問題七**問二「**一文で**答えなさい」と問われているにも関わらず、二～三文で答えている人がいました。答え方に条件が付されることは、今後のテストでもあります。しっかりと問題を読み、条件に従った答え方をしましょう。

《**言語**》に関する知識を問う問題の学年平均点は20点中、9.9点でした。《言語》の問題の多くは、答えが絶対的に決まっています。日々の学習でどれだけ復習したかが顕著に現れます。今回の学習の反省を、2年生の学習に、ぜひ活かしましょう。

【社会】

2学期期末テスト以上の点数だった生徒が多数います。例えば、前回のテストでは、40点以上の生徒が2倍増加しましたが、今回はさらに増えました。

《**地理・歴史**》地理では、州のプリントをきちんと復習できていました。自然地名、国名、雨温図、重要語句などを地理ワークや学習診断プリントで確認できていました。歴史でも、年表、地図、海外との関わり、他の時代との比較、各種資料の読み取りなどを歴史ワークや学習診断プリントで確認できていました。今後、観点「思考・判断・表現」における問題に強くなるコツは、普段の授業から思考・判断したり、自分の意見を表現したりすることです。

《**復習問題**》2学期期末テスト、学力診断調査からの出題でした。平均点は、「8.1/12点」でした。正答率が前回より急上昇しました。学習内容を定着させる習慣ができてきています。

《**その他**》①地理・歴史ワークの事前提出者、のべ86名。②自主勉強ノートの提出者29名、最高19ページ。家庭学習を充実させています。

【数学】

全体として、復習ノート用のプリントを中心にテスト勉強をがんばっていましたが、提出ポイント数を増やすことに気をとられ、テスト勉強が十分でなかった人もいる気がします。特に、今までも指摘しましたが、計算過程や求め方を書かず、正答だけを丸写しにして、解き方や求め方を理解するという最も重要なことをおろそかにしています。それでは、真のテスト勉強とは言い難いと言えます。自分の力で解いて、間違いを直していく学習が大切です。

テストでは、技能、知識・理解、見方・考え方と、はっきりと3つに分けて作成しました。技能は20点満点で14点、知識・理解は15点満点で10点、見方・考え方は15点満点で5点くらいの平均でした。「技能」では、累乗の計算、約分忘れ、反比例のグラフなどの間違いが目立ちました。「知識・理解」では、重要語句を覚えていない、空間内の位置関係がイメージできないなどが気になりました。「見方・考え方」では、難しい問題でしたが、基礎問題集や診断テスト(中テスト)、授業プリントなどで類似問題を解いていました。もう一度、見直しが必要だったと思います。

【理科】

皆さんがもっと伸びていくためには①「なぜ」という疑問を持つこと、②正確な知識や技能を身につけようとするものの2つが大切だと感じました。

①1番の(6)①では、状態変化をするときに、温度が上昇しない理由を問うものがありました。授業では「状態変化を行うときに、温度が変化しない」と習いました。では、なぜ温度は上昇しないのでしょうか。ここに疑問を持った人は、いたでしょうか。

②1月に行った学調の解説で、「レンズを通った光を作図する際、矢印を描く」と言われました。その後すぐ、家で練習しましたか。

授業で教わったから、塾で教わったからでは、考えて答える理科の問題に対応できません。4月のガイダンスで伝えられたように、**理科は「考える」学問**です。疑問を持ち続け、正確な知識と技能で検証して、正解を導き出す訓練をしましょう。

【英語】

《**放送問題**》1～3番については、丁寧に聞き取り、高い正答率でした。しかし、特に3番の問題については、英文を読む力も必要となりますので、英文を短い時間の中で読む練習をしておくべきです。

《**表現の問題**》5, 8番については、特に自然なやりとりを日本語にしたため、その自然なやりとりの中で、どのような場面で、どのような英語を使用するのかをよく考えて答えなくてはなりません。日本語訳にとらわれず、こういう場面ではどうやって言うのだろうか？と考えながら問題を解けると、さらに点数につながると思います。

スペルミスが少なくなってきました。その調子で来年度に向けて頑張りましょう。